

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和5年5月31日(2023.5.31)

【公開番号】特開2023-29482(P2023-29482A)

【公開日】令和5年3月3日(2023.3.3)

【年通号数】公開公報(特許)2023-041

【出願番号】特願2022-210331(P2022-210331)

【国際特許分類】

G 02 B 5/30 (2006.01)

10

【F I】

G 02 B 5/30

【手続補正書】

【提出日】令和5年5月23日(2023.5.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項1】

透明基材、光配向層、及び偏光層がこの順で設けられた、フィルム状且つ長尺状である偏光素子であって、

該偏光層が、2種以上の重合性スマートチック液晶化合物の重合物と、レベリング剤と、二色性色素とを含有し、

前記偏光層の厚みが0.5~3μmであり、

ヘイズ値が3%以下、かつ二色比が2.5以上である、偏光素子。

【請求項2】

位相差フィルム、光配向層、及び偏光層がこの順で設けられた、フィルム状且つ長尺状である円偏光板であって、

該偏光層が、2種以上の重合性スマートチック液晶化合物の重合物と、レベリング剤と、二色性色素とを含有し、

前記偏光層の厚みが0.5~3μmであり、

ヘイズ値が3%以下、かつ二色比が2.5以上である、円偏光板。

【請求項3】

波長550nmの光で測定した楕円率の値が80%以上であり、

前記位相差フィルムが、波長550nmの光で測定した正面リターデーションの値が100~150nmの範囲のフィルムである、請求項2記載の円偏光板。

30

40

50